

出雲商工会議所管内 業種別景況（令和5年1月～3月期）

《全業種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和4年1～3月)と比べた 今期(令和5年1～3月)の状況				前期(令和4年10～12月)と比べた 今期(令和5年1～3月)の状況				今期(令和5年1～3月)と比べた 来期(令和5年4～6月)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	55.0	15.0	30.0	25.0	28.3	23.3	48.3	△ 20.0	36.7	35.0	28.3	8.3
2 採算	31.7	38.3	30.0	1.7	16.7	46.7	36.7	△ 20.0	31.7	45.0	23.3	8.3
3 仕入単価	81.7	16.7	1.7	80.0	71.2	25.4	3.4	67.8	67.8	32.2	0.0	67.8
4 従業員数					3.4	91.4	5.2	△ 1.7	6.9	89.7	3.4	3.4
5 資金繰り					8.8	63.2	28.1	△ 19.3	14.3	66.1	19.6	△ 5.4

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		22.0	49.2	28.8		-6.8		25.4	54.2		16.9	8.5		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	30.6	8.1	8.1	46.8	8 設備店舗の狭小・老朽化	4.8	9.7	8.1	22.6
2 大企業進出による競争激化	4.8	3.2	9.7	17.7	9 取引条件の悪化	0.0	1.6	0.0	1.6
3 製品・商品単価の下落	1.6	1.6	0.0	3.2	10 事業資金の確保難	3.2	6.5	8.1	17.7
4 原材料高及び不足	30.6	27.4	9.7	67.7	11 需要の停滞	6.5	16.1	16.1	38.7
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	1.6	0.0	1.6	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	1.6	1.6
6 人手不足	9.7	6.5	9.7	25.8	13 その他	1.6	0.0	1.6	3.2
7 人件費の増加	3.2	6.5	1.6	11.3	無回答	3.2	11.3	25.8	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

《 製 造 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和4年1～3月)と比べた 今期(令和5年1～3月)の状況				前期(令和4年10～12月)と比べた 今期(令和5年1～3月)の状況				今期(令和5年1～3月)と比べた 来期(令和5年4～6月)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	75.0	12.5	12.5	62.5	50.0	12.5	37.5	12.5	37.5	37.5	25.0	12.5
2 採 算	25.0	50.0	25.0	0.0	37.5	50.0	12.5	25.0	37.5	50.0	12.5	25.0
3 仕 入 単 価	100.0	0.0	0.0	100.0	75.0	25.0	0.0	75.0	50.0	50.0	0.0	50.0
4 従 業 員 数	/	/	/	/	12.5	75.0	12.5	0.0	0.0	87.5	12.5	△ 12.5
5 資 金 繰 り	/	/	/	/	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		25.0	62.5	12.5		12.5		25.0	50.0		25.0	0.0		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	25.0	12.5	25.0	62.5	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	12.5	12.5	25.0	50.0
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	12.5	12.5	25.0
4 原 材 料 高 及 び 不 足	37.5	62.5	0.0	100.0	11 需 要 の 停 滞	12.5	0.0	25.0	37.5
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	12.5	0.0	12.5	25.0	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	0.0	0.0	無 回 答	0.0	0.0	0.0	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 原材料・電気量等の上昇分をいかに価格転嫁するか、タイミングも含めて課題。
- ・ 仕入値高騰。既存事業の減少に伴い、新商品・サービスの開発し新規顧客獲得求められる。
- ・ 在宅ワーカーによる、ウェブマーケティング戦略を用いた新事業展開。
- ・ 売上回復傾向にあるが、原材料・送料の高騰の影響大きい。

- ・ 求人するが募集がない。鋼材・電気量金の値上がり。
- ・ 社員への資格取得の推奨。

《建設業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況 (%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和4年1～3月)と比べた 今期(令和5年1～3月)の状況				前期(令和4年10～12月)と比べた 今期(令和5年1～3月)の状況				今期(令和5年1～3月)と比べた 来期(令和5年4～6月)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	50.0	0.0	50.0	0.0	12.5	25.0	62.5	△ 50.0	12.5	37.5	50.0	△ 37.5
2 採算	37.5	37.5	25.0	12.5	12.5	50.0	37.5	△ 25.0	25.0	50.0	25.0	0.0
3 仕入単価	100.0	0.0	0.0	100.0	75.0	25.0	0.0	75.0	87.5	12.5	0.0	87.5
4 従業員数					0.0	87.5	12.5	△ 12.5	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資金繰り					12.5	87.5	0.0	12.5	12.5	87.5	0.0	12.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況 (%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		14.3	42.9	42.9		△ 28.6		14.3	71.4		14.3	0.0		0.0

2、経営上の問題点 (%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	44.4	11.1	0.0	55.6	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	11.1	0.0	11.1
2 大企業進出による競争激化	0.0	11.1	11.1	22.2	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原材料高及び不足	33.3	0.0	33.3	66.7	11 需要の停滞	0.0	22.2	11.1	33.3
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	22.2	22.2	0.0	44.4	13 その他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人件費の増加	0.0	0.0	0.0	0.0	無回答	0.0	22.2	44.4	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 県材料の値上がり。従業員の高齢化に代わる若手人材不足。
- ・ 下請け工事の減少。
- ・ 物価高騰の影響で住宅注文少ないうえ、瓦を採用される住宅がない。
- ・ 利益率と安定性を考えた受注割合とすることが今後の課題。

- ・ 原材料の値上がり。従業員の高齢化が進み人出不足となり、受注にも影響。
- ・ 働き方改革、賃上げ等経営側では苦労があるが、長期的な計画のもと人材確保が重要。
- ・ 事業承継。

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和4年1～3月)と比べた 今期(令和5年1～3月)の状況				前期(令和4年10～12月)と比べた 今期(令和5年1～3月)の状況				今期(令和5年1～3月)と比べた 来期(令和5年4～6月)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	53.8	23.1	23.1	30.8	30.8	38.5	30.8	0.0	38.5	46.2	15.4	23.1
2 採算	30.8	38.5	30.8	0.0	15.4	46.2	38.5	△ 23.1	30.8	46.2	23.1	7.7
3 仕入単価	69.2	30.8	0.0	69.2	61.5	38.5	0.0	61.5	53.8	46.2	0.0	53.8
4 従業員数	/	/	/	/	0.0	92.3	7.7	△ 7.7	23.1	69.2	7.7	15.4
5 資金繰り	/	/	/	/	0.0	61.5	38.5	△ 38.5	0.0	75.0	25.0	△ 25.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		23.1	69.2	7.7		15.4		50.0	41.7		8.3	41.7		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	21.4	7.1	7.1	35.7	8 設備店舗の狭小・老朽化	7.1	7.1	0.0	14.3
2 大企業進出による競争激化	14.3	7.1	7.1	28.6	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	7.1	0.0	0.0	7.1	10 事業資金の確保難	7.1	0.0	14.3	21.4
4 原材料高及び不足	7.1	28.6	0.0	35.7	11 需要の停滞	0.0	14.3	14.3	28.6
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	7.1	7.1
6 人手不足	14.3	0.0	7.1	21.4	13 その他	0.0	0.0	7.1	7.1
7 人件費の増加	7.1	7.1	0.0	14.3	無回答	14.3	28.6	35.7	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・人手不足
- ・コロナで中止されていた展示会が再開の動き。
- ・光熱費高騰が一番の悩み。
- ・貸切りタイプの宿泊施設が増加。競争激化。
- ・新宿泊施設が増加し、競争激化。
- ・全国旅行支援後の集客を意識した広告やSNS活用に注力。

- ・物価高騰により1月からメニューを200～500円値上げした。
- ・競合店増加。
- ・イベントが増えたと来店客も増加するので、今後に期待。
- ・コロナがおさまりつつあるが、予想よりお客様お動きが悪い。好転することを願うばかり。
- ・中古車の値下がり。

《 飲 食 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和4年1～3月)と比べた 今期(令和5年1～3月)の状況				前期(令和4年10～12月)と比べた 今期(令和5年1～3月)の状況				今期(令和5年1～3月)と比べた 来期(令和5年4～6月)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	75.0	16.7	8.3	66.7	41.7	25.0	33.3	8.3	58.3	16.7	25.0	33.3
2 採算	58.3	16.7	25.0	33.3	25.0	33.3	41.7	△ 16.7	50.0	33.3	16.7	33.3
3 仕入単価	91.7	8.3	0.0	91.7	91.7	8.3	0.0	91.7	83.3	16.7	0.0	83.3
4 従業員数	/	/	/	/	10.0	90.0	0.0	10.0	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資金繰り	/	/	/	/	10.0	50.0	40.0	△ 30.0	33.3	55.6	11.1	22.2

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		25.0	41.7	33.3		-8.3		18.2	63.6		18.2	0.0		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	25.0	16.7	8.3	50.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	8.3	8.3	16.7
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	8.3	8.3	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	8.3	0.0	8.3	10 事業資金の確保難	0.0	8.3	0.0	8.3
4 原材料高及び不足	58.3	25.0	16.7	100.0	11 需要の停滞	8.3	25.0	16.7	50.0
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	8.3	8.3	25.0	41.7	13 その他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人件費の増加	0.0	0.0	0.0	0.0	無回答	0.0	0.0	16.7	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・材料費高騰。
- ・原材料価格の高騰により値上がりし、全体の景気が停滞するのでは。
- ・イベントが増えることを期待。
- ・大人数の宴会が増えると、小規模なお店の利用が減少する。
- ・お酒が値上がりし、メニュー価格の変更を考案中。
- ・シャンパン不足に伴う値上がり。

- ・プレミアム付き食事券終了後どうなるか不安。季節商品を作り「動く」ことが重要。
- ・仕入れ商品なにもかも値上がり。
- ・若年層のお客様の来店を増やしたい。
- ・キャッシュレス導入を検討。
- ・コロナによる客数減少、大手の居酒屋進出、物価上昇。